

外国人介護士を合格へ導く

～受験データが明かす課題と施設の対策～

介護福祉士・日本語教師・博士（介護福祉学）全国教務チーフ

小林 桂子

データ分析から導いた、合格への道筋

合格を決める5つのカギ



- | | | | |
|---|----------------|-------------------|--------|
| 1 | 場面を読み取る力を鍛える | 読解力が合否を分ける | -9.3pt |
| 2 | 0点リスクの2科目を底上げ | 「捨てない」対策が合格ラインを守る | 約8割 |
| 3 | 医療知識という強みを得点源に | 強みを伸ばして得点の土台をつくる | 16.8% |
| 4 | パート合格制度を活かす | 段階的な合格設計で挫折を防ぐ | 3パート |
| 5 | 施設の支援体制づくり | 施設の支援が合格率を押し上げる | 60.2% |

5つのカギを押さえれば、合格はもっと近づく

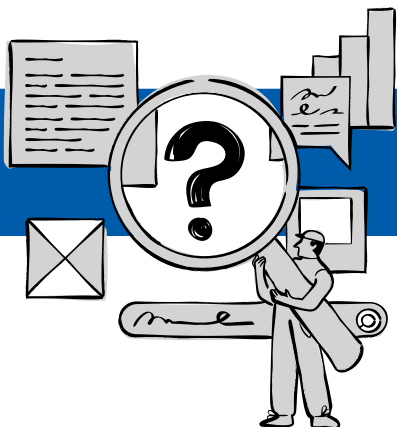
本セミナーのゴール

～個人任せにしない仕組み～

課題を「施設の対策」で乗り越える

STEP 1

施設の対策を具体的に提示
課題への打ち手が分かる



STEP 2

明日から実践できる
すぐ動ける形にして持ち帰り



CONTENTS

1. 第38回 介護福祉士国家試験 試験概要
2. 自己採点サービス 調査研究による分析結果
3. 合格を決める 5つのカギ ～データ分析結果から考える～
4. 施設の対策 ～個人任せにしない仕組み～

明日から始める！ 実践チェックリスト

記入欄 実施予定日：____/____/____ 担当者：____ 完了確認日：____/____/____

01 学習環境・時間の確保 ☐ 休憩室に過去問集などを閲覧できるように配置する ☐ 休憩室や食堂を時間帯で学習コーナーにする ☐ 掲示版に「今日の1問1答」を掲示する ☐ 無料アプリ・動画・過去問サイトの一覧を配布する ☐ 申し送り後や休憩の5分を「1問だけ」学習に ☐ 勤務時間やシフトを調整し、学習時間に配慮する	03 現場と連動した実践支援 ☐ 介護場面を「なぜそうするのか」高質にして確認 ☐ OJTで介護場面での判断を練習する ☐ 「してはいけない対応」を現場で確認する ☐ 日本人職員に「教えることが最高の学習」の役割を
02 早期・計画的な学習設計 ☐ 入職時に受験の目標年を一括に決める ☐ 夏までに学習を開始する(早期スタート) ☐ パート合格制度を活かす複数年計画を立てる ☐ ロードマップを作成し、視覚化する	04 継続を支える仕組み ☐ 学習日カレンダーを記録し、月1回振り返り会を実施 ☐ 日常の声かけ・励ましでモチベーションを維持 ☐ 合格者や先輩の体験談を共有する ☐ つまずきを抱えない相談先・受験支援担当を決める ☐ 管理者が「応援する」方針を明確に打ち出す ☐ 職場全体で応援する雰囲気をつくる

©2020 SANKO. 本資料の複製・改訂を禁じます。 All Rights Reserved.

本日プレゼント
実践チェックリスト そのまま使えます

1

第38回

介護福祉士国家試験

試験概要

第38回 介護福祉士国家試験 概要

	試験時間	パート	試験科目(出題数)
午前の試験	10時00分～11時45分 (外国人12時40分まで)	A (60)	人間の尊厳と自立(2)
			介護の基本(10)
			社会の理解(12)
			人間関係とコミュニケーション(4)
			コミュニケーション技術(6)
			生活支援技術(26)
午後の試験	13時40分～15時35分 (外国人16時35分まで)	B (45)	こころとからだのしくみ(12)
			発達と老化の理解(8)
			認知症の理解(10)
			障害の理解(10)
			医療的ケア(5)
		C (20)	介護過程(8)
			総合問題(12)



3パート13科目

出題数 ▶ 125問

出題形式 ▶ 五肢択一

合格発表データ(全体)

区 分	第 34 回	第 35 回	第 36 回	第 37 回	第 38 回
受験者数(人)	83,082	79,151	74,595	75,387	78,469
合格者数(人)	60,099	66,711	61,747	58,992	54,987
合格率(%)	72.3	84.3	82.8	78.3	70.1

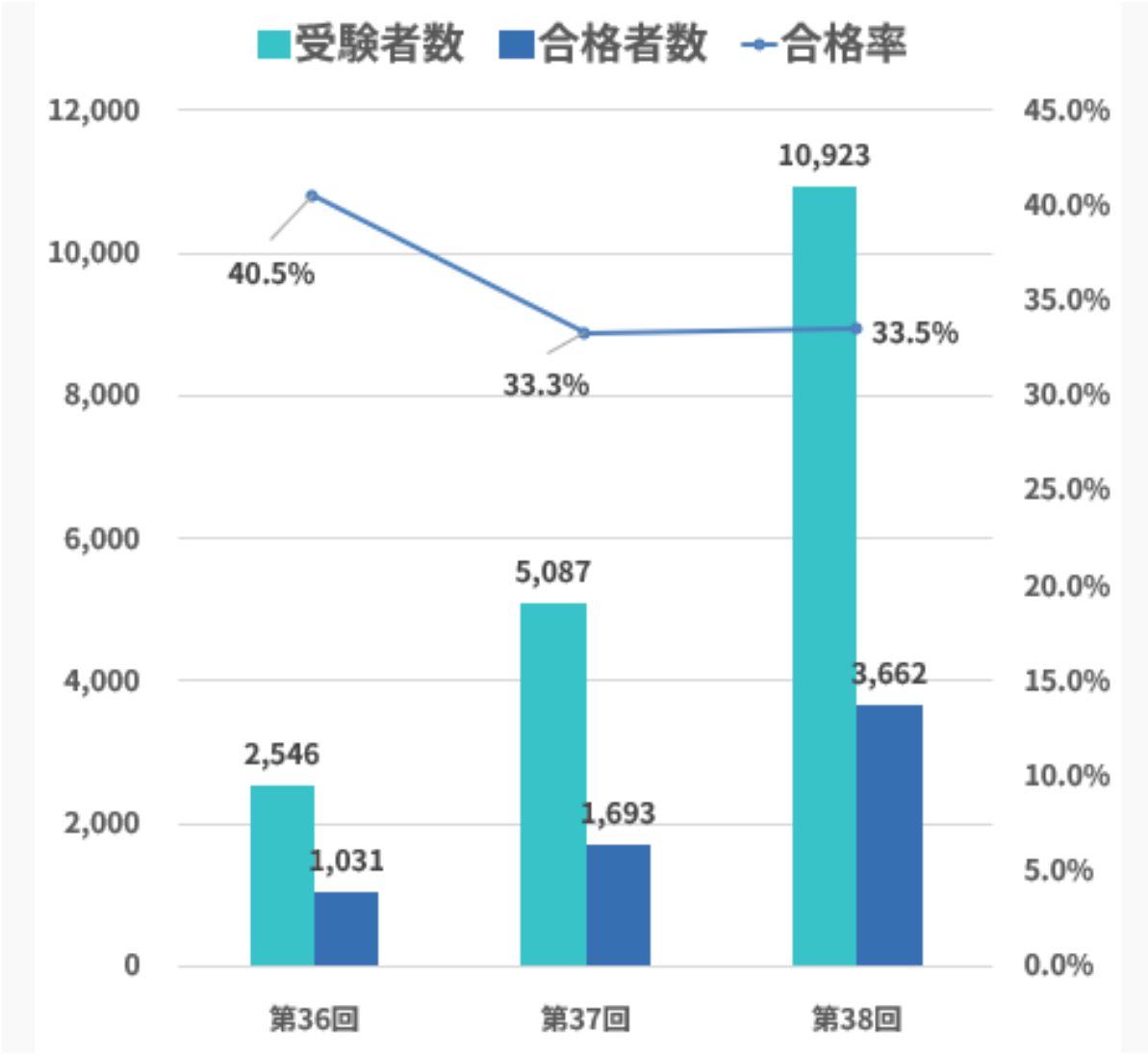
出典:社会福祉振興・試験センター「第38回介護福祉士国家試験の合格発表について」



合格発表データ(外国人)

		第36回	第37回	第38回
特定技能 1号	受験者数 (人)	1,950	4,932	10,406
	合格者数 (人)	751	1,643	3,435
	合格率 (%)	38.5	33.3	33.0
技能実習	受験者数 (人)	596	155	517
	合格者数 (人)	280	50	227
	合格率 (%)	47.0	32.3	43.9

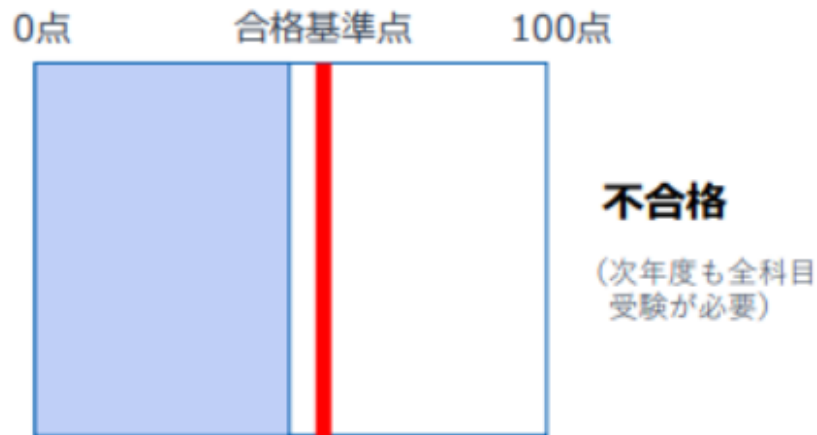
出典: 社会福祉振興・試験センター「第38回介護福祉士国家試験の合格発表について」



パート合格制度の開始

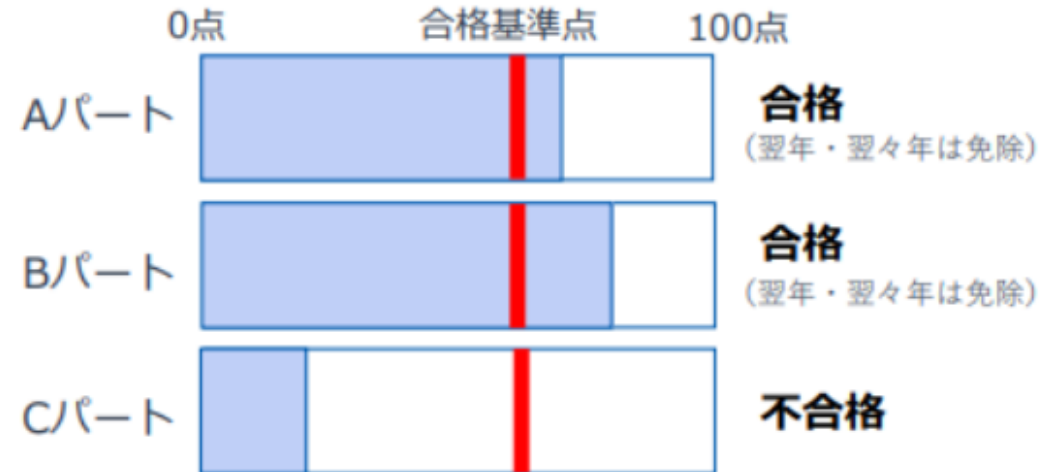
第37回(令和6年度)まで

- ・ 全科目の総得点が合格基準点（6割が目安）を超えれば合格



第38回(令和7年度)から

- ・ 総得点で不合格となった場合、各パート毎に判定
- ・ 分割したパートごとに合格基準点を超えれば合格
- ・ 翌年・翌々年までは、合格したパートの受験は免除



出典:厚生労働省「介護福祉士国家試験におけるパート合格(合格パートの受験免除)の導入について」

パート合格による介護分野の特定技能外国人の在留期間延長について

第38回介護福祉士国家試験（令和 8 年実施）より、介護分野の特定技能外国人のうち、特定技能の在留期間（通算 5 年）経過直前の介護福祉士国家試験において全パートを受験し、

- ①当該試験において 1 パート以上合格している、かつ
- ②当該試験において総得点に対する合格基準点の 8 割以上の得点がある

等の一定の要件（※）を満たした方については、最長 1 年間の在留期間延長を可能とする。

（※）その他の要件は以下の通り。

- ・ 当該外国人に翌年度の介護福祉士国家試験合格に向けた学習意欲があり、かつ、翌年度の介護福祉士国家試験を受験することを誓約すること
- ・ 特定技能所属機関において学習計画（翌年度の国家試験合格を目指すための具体的な支援計画及び国家試験対策に係る講座・研修等の受講予定を含む）を対象者本人とともに作成し、厚生労働省に提出すること

<例：令和3年7月就労開始の場合>

1 年目 (R3.7～R4.6)	2 年目 (R4.7～R5.6)	3 年目 (R5.7～R6.6)	4 年目 (R6.7～R7.6)	5 年目 (R7.7～R8.6)	6 年目 (R8.7～R9.6)
就労開始		実務経験 3 年 + 実務者研修受講 →介護福祉士国家試験の受験資格取得	介護福祉士国家試験 受験① →不合格	介護福祉士国家試験 受験② →不合格	介護福祉士国家試験 受験③ 要件該当の場合 最長 1 年延長可

- ・ 合格の場合→在留資格「介護」に変更可能
※速やかに変更許可申請を行う
- ・ 不合格の場合→帰国

2

三幸福祉カレッジ
自己採点サービス
調査研究による分析結果

調査概要①

目的 : 外国人受験生の試験傾向を把握し、
合格率を高める学習支援を検討するため

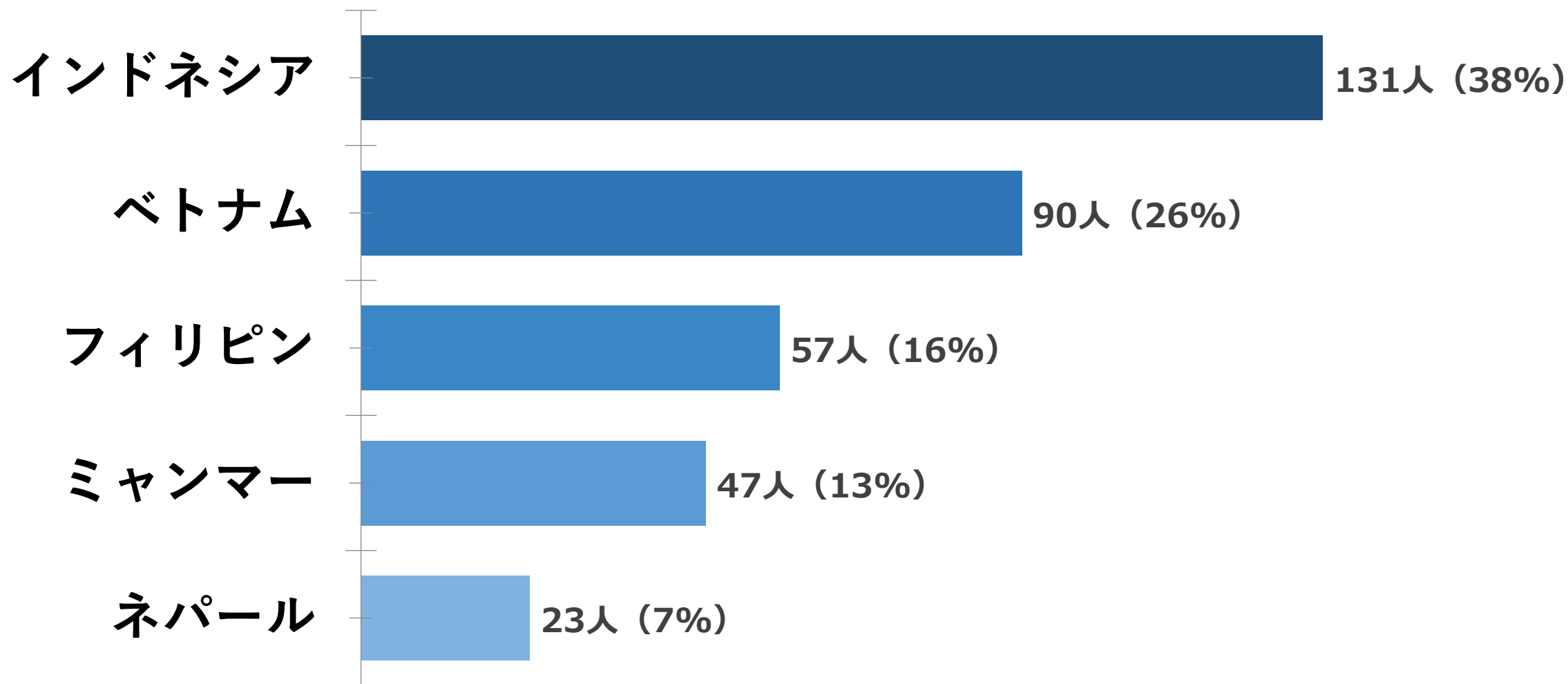
調査概要 : 調査方法 三幸福祉カレッジ自己採点サービスへの回答
調査期間 2026年1月25日～2月9日

調査内容 : 科目別分析／ 問題別分析

有効回答数 : 全体14,241件
(外国人348件、日本人13,654件、不明239件)

調査概要②

<外国人回答者属性> 全体14,241件のうち、外国人回答者 348件



合格発表データ(国別)

	総数	合格	不合格	合格率
インドネシア	131	86	45	65.6%
ベトナム	90	64	26	71.1%
フィリピン	57	28	29	49.1%
ミャンマー	47	37	10	78.7%
ネパール	23	17	6	73.9%
日本	13,654	12,634	1,020	92.5%

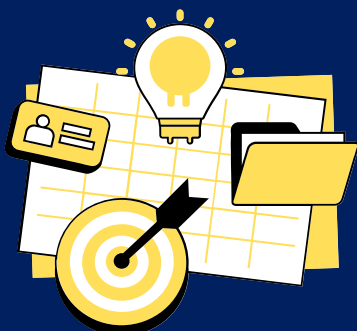


① 科目別平均点・正答率比較(日本人/外国人)

科目別分析

科目	問題数	日本人		外国人		差(外国人－日本人)	
		平均点	正答率	平均点	正答率	平均点差	正答率差
人間の尊厳と自立	2.0	1.6	80.3%	1.5	73.3%	-0.1	-7.0%
介護の基本	10.0	7.4	74.3%	6.3	62.8%	-1.2	-11.5%
社会の理解	12.0	7.0	58.4%	6.3	52.2%	-0.7	-6.2%
人間関係とコミュニケーション	4.0	3.2	80.9%	2.6	65.9%	-0.6	-14.9%
コミュニケーション技術	6.0	5.0	82.9%	4.0	67.2%	-0.9	-15.7%
生活支援技術	26.0	19.3	74.2%	16.7	64.3%	-2.6	-9.9%
こころとからだのしくみ	12.0	7.5	62.4%	6.6	54.8%	-0.9	-7.6%
発達と老化の理解	8.0	4.8	60.3%	4.1	51.6%	-0.7	-8.8%
認知症の理解	10.0	7.2	72.1%	6.2	62.0%	-1.0	-10.1%
障害の理解	10.0	6.1	61.2%	5.7	56.7%	-0.5	-4.6%
医療的ケア	5.0	2.4	49.0%	2.2	44.8%	-0.2	-4.2%
介護過程	8.0	7.1	89.3%	6.2	77.6%	-0.9	-11.8%
総合問題	12.0	8.1	67.6%	6.9	57.3%	-1.2	-10.3%
合計／全体	125.0	86.9	69.5%	75.3	60.2%	-11.6	-9.3%

- 外国人は全体平均で日本人より約9ポイント低く(60.2%対69.5%)、底上げの余地、伸びしろが大きいと考えられる。
- 差が大きい「コミュニケーション技術」「人間関係とコミュニケーション」は、対人場面での日本語力・読解力が問われる科目である。一方で、差が小さい「障害の理解」「医療的ケア」は、知識・専門用語が中心で学習や暗記が活きやすい科目である。



外国人受験者の壁は「知識不足」より
「状況場面を正しく読み取る力」にある

② 2科目に集中する0点

【科目別 0点者数分析】

科目名	0点者数	構成比
人間の尊厳と自立※介護の基本と同科目群	50	40.30%
医療的ケア	47	37.90%
コミュニケーション技術	8	6.50%
人間関係とコミュニケーション	6	4.80%
社会の理解	3	2.40%
発達と老化の理解	3	2.40%
こころとからだのしくみ	2	1.60%
介護過程	2	1.60%
認知症の理解	1	0.80%
障害の理解	1	0.80%
総合問題	1	0.80%
合計	124	100.00%

科目別に見るつまずきの正体！

- ① 問題数が少ない科目である
- ② 知識の暗記依存度が高い
- ③ 抽象的な概念が多い
- ④ 外国人学習者には、語彙の負荷が高い
- ⑤ 出題範囲が狭く、苦手が直撃しやすい



③ 正答率からみる 外国人難問ワースト10

問題別分析

順位	問題(科目名)	正答率
1	問題78(発達と老化の理解)	15.3%
2	問題9(介護の基本)	17.0%
3	問題48(生活支援技術)	19.6%
4	問題104(医療的ケア)	21.6%
5	問題76(発達と老化の理解)	24.0%
6	問題54(生活支援技術)	25.2%
7	問題41(生活支援技術)	26.7%
8	問題11(介護の基本)	27.1%
9	問題64(こころとからだのしくみ)	27.8%
10	問題85(認知症の理解)	28.3%

正答率 ▶ 外国人15.3% ・ 日本人17.9%

発達と老化の理解

問題 78 もんだい 次のうち、つぎ 加齢にかれい 伴いともな 階段を上ると息切れしやすくなる現象かいだん のぼ いきぎ に関係するげんしょう かんけい
こうじょうせい 恒常性の機能として、きのう 最も適切なものを1つ選びなさい。もっと てきせつ えら

- 1 よびりょく 予備力
- 2 てきおうりょく 適応力
- 3 めんえきりょく 免疫力
- 4 ていこうりょく 抵抗力
- 5 かいふくりょく 回復力

正答率 ▶ 外国人17.0% ・ 日本人21.3%

介護の基本

問題 9 次の記述のうち、介護老人保健施設における在宅復帰に向けたカンファレンスで、介護福祉士が連携する職種（かいごろうじんほけんしせつ）の役割（ざいたくふっきむ）として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 歯科衛生士（しかえいせいし）が、義歯（ぎし）を作成する。
- 2 看護師（かんごし）が、車いす（くるま）を貸与する。
- 3 介護支援専門員（ケアマネジャー）が、訪問介護計画（ほうもんかいごけいかく）を作成する。
- 4 福祉用具専門相談員（ふくしようにせんもんそうだんいん）が、下肢（かし）の機能訓練（きのうくんれん）をする。
- 5 作業療法士（さぎょうりょうほうし）が、自宅の玄関（じたくげんかん）の段差（だんさ）を確認する。

正答率 ▶ 外国人19.6% ・ 日本人25.6%

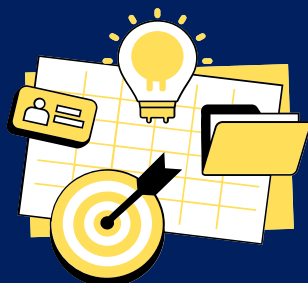
生活支援技術

問題 48 もんだい ベッド上で行う陰部洗浄に関する次の記述のうち、最も適切なものを じょう おこな いんぶせんじょう かん つぎ きじゅつ もっと てきせつ

えら
1つ選びなさい。

- めっきんてぶくろ しょう おこな
1 滅菌手袋を使用して行う。
- じょうはんしん てまえはし いどう
2 上半身はベッドの手前端に移動する。
- りょうかし つつ
3 バスタオルで両下肢を包む。
- せんじょう と き ゆ もち
4 洗浄する時は、43℃のお湯を用いる。
- しゅうりょうご む すいぶん ふ と
5 終了後は、蒸しタオルで水分を拭き取る。

外国人、日本人ともに正答率が10～20%台であり、難問



日本語力×読解力×介護倫理・実践理解を 同時に要求する総合判断問題

- ▶ 「安全」「尊厳」「自立支援」「禁忌」を同時に判断する必要がある。
- ▶ 暗記だけでは解けない知識を、実践場面に当てはめる力が問われる。

特に外国人に
難しい理由

- ・ 選択肢の微妙なニュアンス、否定表現、専門用語(抽象的)が難しい
- ・ 選択肢が似ていて、少しの表現で、正誤が変わる
- ・ 「してはいけない対応」/避ける構造が読み取りにくい

④ 日本人との正答率の差 ワースト10

問題別分析

順位	問題	外国人正答率	日本人正答率	正答率差(外国人-日本人)
1	問題35	41.9%	89.8%	-47.9%
2	問題8	43.4%	86.9%	-43.4%
3	問題125	44.1%	80.9%	-36.8%
4	問題27	37.1%	72.9%	-35.7%
5	問題30	44.6%	80.0%	-35.4%
6	問題81	51.4%	83.4%	-31.9%
7	問題67	48.9%	78.6%	-29.7%
8	問題42	43.3%	67.9%	-24.7%
9	問題82	44.0%	67.5%	-23.6%
10	問題19	64.1%	87.4%	-23.4%

正答率 ▶ -47.9%差

生活支援技術

問題 35 もんだい 次の記述のうち、介護福祉職が行う利用者の生活支援として、最も適切 きじゆつ かいごふくししょく おこな りようしゃ せいかつしえん もっと てきせつ なものを1つ選びなさい。えら

- 1 りようしゃ 利用者ができないことを代わりに行うことに重点を置く。か おこな じゅうてん お
- 2 りようしゃ 利用者の全体像をとらえて支援する。ぜんたいぞう しえん
- 3 りようしゃ 利用者がすべてを自分一人でできるようにする。じぶんひとり
- 4 りようしゃ 利用者の生活の効率化を図ることを目標にする。せいかつ こうりつか はか もくひょう
- 5 りようしゃ 利用者に同情する気持ちで寄り添う。どうじょう きも よ そ

正答率 ▶ -43.4%差

介護の基本

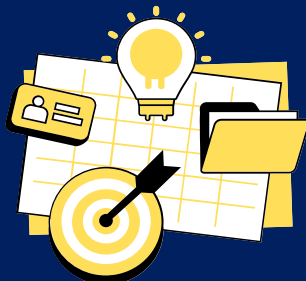
問題 8 Aさん(91歳, 女性, 要支援2)は, 長年診療所の医師として地域医療に貢献してきた。婚姻歴はなく, 診療所敷地内の自宅で3匹の猫と暮らしている。

85歳で医師を引退した後も, 近隣にはAさんを慕う地域住民が多く, 定期的に「先生, 元気にはしていますか」とAさんの自宅を訪ねている。

Aさんは昨年から歩行の不安を訴え, 現在は地域住民の見守りのほか, 訪問型サービスを週2回利用している。人の世話になることに慣れていない様子もあるが, 最期まで自宅で暮らすことを望んでいる。

次の記述のうち, Aさんの生活史を尊重した訪問介護員(ホームヘルパー)の声かけとして, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 「3匹の猫は, 今後は地域の皆さんに預けましょう」
- 「近所の方の力も借りて, この地域で暮らしていけるように考えていきましょう」
- 「介護を受けることにも, 今後は慣れてください」
- 「医師であったことは忘れて, 私たちを頼ってください」
- 「一人暮らしで自宅で最期を迎えるのは, 不安がありますよね」



ことばのニュアンスがカギになる

特徴

- ▶ 知識問題というより、日本語で状況を正しく読み取れるか、が正答率大差につながったと考えられる。
- ▶ 「してよいこと/避けるべきこと」の判断が含まれる可能性
- ▶ 選択肢の細かい表現差を読む力が必要

日本語の読み取りやことばのニュアンスで、差が出た問題: 54問/125問中(43.2%)

全体の4割強が、「ことばの読み取り」で差が出たと考えられる

「ことばの読み取り」で差が出た問題の科目別割合

順位	科目	割合
1	生活支援技術	12問(22.2%)
2	コミュニケーション技術	7問(13.0%)
3	認知症の理解	6問(11.1%)
4	総合問題	6問(11.1%)
5	介護過程	5問(9.3%)
6	社会の理解	4問(7.4%)

介護場面 を読解＋状況判断する科目(二重の負荷)

⑤ 外国人が日本人よりも得点できた問題ベスト5

問題別分析

順位	問題	外国人正答率	日本人正答率	正答率差
1	問題37	56.7%	41.3%	15.5%
2	問題22	34.2%	23.3%	10.9%
3	問題49	76.7%	65.9%	10.7%
4	問題72	45.0%	36.2%	8.8%
5	問題85	28.3%	20.5%	7.8%

外国人が、日本人よりも得点できた問題の割合 21問/125問中(16.8%)

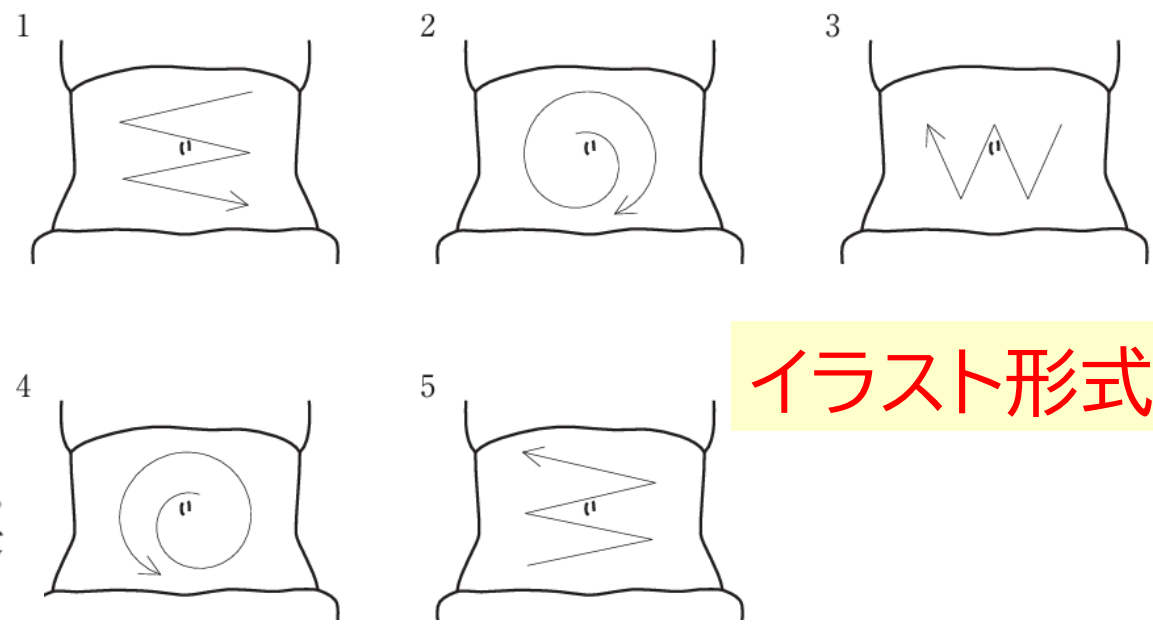
問題 37 パーキンソン病 (Parkinson disease)の人の住まいに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 玄関の段差には、スロープを設置する。
- 廊下の床には、歩幅に合わせて目印をつける。
- リビングの床には、大きさの違うカーペットを重ねて敷く。
- 移動空間が狭くなるように、家具を配置する。
- リビングは1階、浴室は2階にして、階段で行き来する。

問題 72 キューブラー・ロス (Kubler-Ross, E.)が示した終末期にある人の死の受容プロセスのうち「抑うつ」の段階として、適切なものを1つ選びなさい。

- 第1段階
- 第2段階
- 第3段階
- 第4段階
- 第5段階

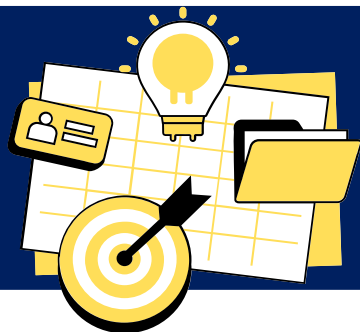
問題 49 腹部の清拭の方法を図に示す。矢印は拭く方向を表している。次のうち、基本的な清拭の方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。



イラスト形式

問題 85 次のうち、レビー小体型認知症 (dementia with Lewy bodies)の症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- ノンレム睡眠行動障害による大声
- 自律神経症状による起立性低血圧 (orthostatic hypotension)
- 聴覚認知機能の障害による幻聴
- 側頭葉の萎縮による意味性失語
- 嚥下機能の促進による食欲増加



言葉の壁が消えれば、実力が出る

- ▶ 英語併記の疾患名・専門用語に強い
- ▶ 国際標準の理論・知識に強い
- ▶ 言語ハンデが出にくい設計に強い



言語ハンデが小さい問題ほど、医療的素養が得点に直結

3

データ分析結果から考える
合格を決める5つのカギ

データ分析から導いた、合格への道筋

合格を決める5つのカギ



1	場面を読み取る力を鍛える	読解力が合否を分ける	-9.3pt
2	0点リスクの2科目を底上げ	「捨てない」対策が合格ラインを守る	約8割
3	医療知識という強みを得点源に	強みを伸ばして得点の土台をつくる	16.8%
4	パート合格制度を活かす	段階的な合格設計で挫折を防ぐ	3パート
5	施設の支援体制づくり	施設の支援が合格率を押し上げる	60.2%

5つのカギを押さえれば、合格はもっと近づく



① 場面を読み取る力を鍛える

−9.3pt

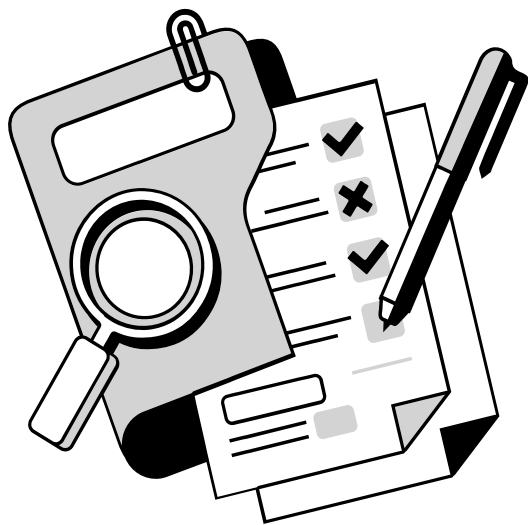
日本人との平均正答率差

43.2%

ことばの読み取りで差

≫≫ 「読解力」
が合否を分ける

具体的な対策



- ☑ やさしい日本語＋ルビ教材を活用
- ☑ 短文事例のパターンに慣れる
- ☑ 「してはいけない対応」を見抜く練習
- ☑ 選択肢のニュアンスを比べる訓練
- ☑ 事例をイラスト・動画で場面理解

もんたい つぎ みぎかたまひ りようしゃ まえびら うわぎ ちゃくだつ かいごふくし
問題 43 次のうち、右片麻痺の利用者が前開きの上着を着脱するとき介護福祉

しょく おこな せつめい もっと てきせつ えら
職が行う説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「脱ぐときは、^ぬ左肩^{ひだりかた}の衣服^{いふく}を下^さげてから、右側^{みぎがわ}の袖^{そで}から腕^{うで}を抜^ぬきましょう」
- 2 「脱ぐときは、右肩^{みぎかた}の衣服^{いふく}を下^さげてから、右側^{みぎがわ}の袖^{そで}から腕^{うで}を抜^ぬきましょう」
- 3 「襟元^{えりもと}を手前^{てまえ}にして、腿^{もも}の上^{うへ}に置^おきましょう」
- 4 「着^きるときは、右袖^{みぎそで}を肘^{ひじ}まで通^{とお}してから、左袖^{ひだりそで}を通^{とお}しましょう」
- 5 「着^きるときは、右袖^{みぎそで}を肩^{かた}まで通^{とお}してから、左袖^{ひだりそで}を通^{とお}しましょう」

具体的な手順を 問う問題

みぎかたまひ たてんづえ
問題 84 次のうち、右片麻痺の利用者が多点杖を使用して3動作歩行を開始する
ときに、介護福祉職が行う説明として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「杖^{つえ}、右足、左足の順で歩きましょう」
- 2 「杖^{つえ}、左足、右足の順で歩きましょう」
- 3 「右足、左足、杖^{つえ}の順で歩きましょう」
- 4 「左足、杖^{つえ}、右足の順で歩きましょう」
- 5 「左足、右足、杖^{つえ}の順で歩きましょう」

ただ かい じょ しゃ い ち Q: 正しい介助者の位置は？

りようしゃ みぎかたまひ
(利用者は、右片麻痺)



かい じょ しゃ い ち かん そく
介助者の位置は、患側





おぼ 覚えましょう

みぎかた ま ひ り よう しゃ ほ こう じゅんばん
右片麻痺利用者の歩行の順番

つえ かん そく みぎ あし けん そく ひだり あし
①杖 ➡ ②患側（右足） ➡ ③健側（左足）



② 0点リスクの2科目を底上げ

約8割

尊厳40.3%
医療的ケア37.9%

「人間の尊厳と自立」「医療的ケア」

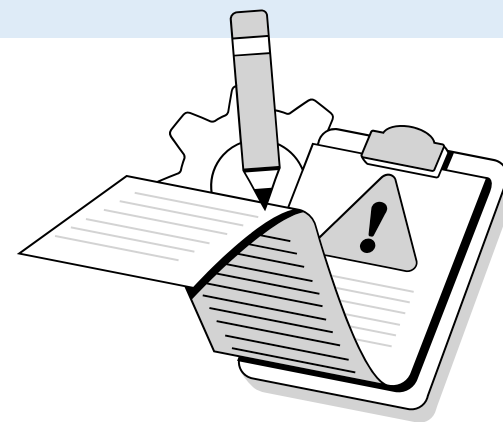
- ・ 0点の約8割がこの2科目に集中
- ・ 少問数ほど1問の取りこぼしが致命傷



「捨てない」対策 が合格ラインを守る

具体的な対策

- ✓ 権利擁護・倫理・手技の用語集を活用
- ✓ 抽象概念を具体的な介護場面で理解
- ✓ 頻出テーマを反復し最低1問を確保





③ 医療知識という強みを得点源に

16.8%

外国人が上回った問題

- ・ 医療的ケア・障害の理解は差が小さい
- ・ 外国人が上回った領域を固める



強みを伸ばして 得点の土台をつくる

具体的な対策



- ☑ 得意科目を先に固め自信につなげる
- ☑ 英語併記の疾患名・専門用語、国際標準の理論・知識は確実に得点できるようにする
- ☑ 図表・用語ベースの問題を確実に点を獲る

問題 5 ユニバーサルデザイン(universal design)の7原則に関する次の記述のうち

ち、^{もっと てきせつ}最も適切なものを1つ^{えら}選びなさい。

- 1 安全^{あんぜん}で使いやすいデザインにする。^{つか}
- 2 要介護高齢者^{ようかいごこうれいしゃ}を対象^{たいしょう}とする。
- 3 個別対応^{こべつたいおう}より標準化^{ひょうじゅんか}を優先^{ゆうせん}する。
- 4 介護福祉職^{かいごふくししよく}にとって操作^{そうさ}しやすいことを優先^{ゆうせん}する。
- 5 デザインの美^{うつく}しさを優先^{ゆうせん}する。

カタカナ用語も
確実に点を獲る

問題 75 次のうち、健康な状態と心身の機能が低下して介護等が必要な状態の

中間^{ちゅうかん}を示す用語^{しめ ようご}として、最も適切なものを1つ^{えら}選びなさい。

- 1 エイジング(aging)
- 2 サルコペニア(sarcopenia)
- 3 ロコモティブシンドローム
- 4 ホメオスタシス(homeostasis)
- 5 フレイル(frailty)

問題 76 高齢者のセクシュアリティ(sexuality)に関する次の記述のうち、最も適

切^{せつ}なものを1つ^{えら}選びなさい。

- 1 高齢^{こうれい}になると性^{せい}への関心^{かんしん}がなくなる。
- 2 男性^{だんせい}は、高齢^{こうれい}になっても性ホルモン^{せい}の分泌^{ぶんびつ}が維持^{いじ}される。
- 3 女性^{じょせい}は、高齢^{こうれい}になると性交痛^{せいこうつう}を感じやすくなる。^{かん}
- 4 高齢者^{こうれいしゃ}は生殖機能^{せいしよくきのう}の喪失^{そうしつ}と同時にセクシュアリティ(sexuality)^{せいしつ}を喪失する。
- 5 高齢者^{こうれいしゃ}の性的欲求^{せいてきよつきゅう}に、性差^{せいさ}はみられない。

④ パート合格制度を活かす

3パート

A・B・Cで個別に合格判定

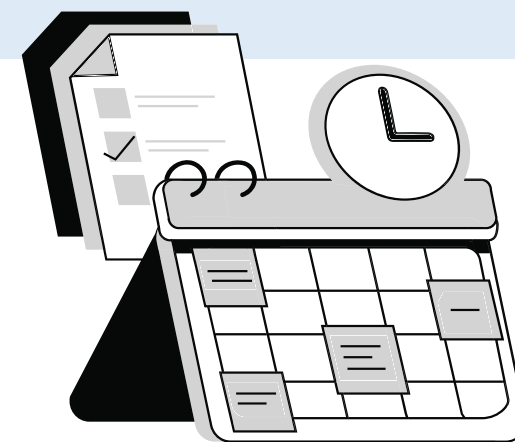
- A・B・Cのパート単位で合格できる
- 合格済みパートは翌年以降免除



段階的な合格設計 で挫折を防ぐ

具体的な対策

- ✓ 現実的な複数年ロードマップを提示
- ✓ 部分合格を「前進」として可視化
- ✓ 弱いパートに絞って集中的に反復学習





⑤ 施設の支援体制づくり

60.2%

現状の平均正答率＝伸びしろ

個人任せにしない仕組み
施設の支援 が合格率を押し上げる

具体的な対策



- ✓ 学習環境・時間の確保
- ✓ 早期・計画的な学習設計
- ✓ 現場と連動した実践支援
- ✓ 継続を支える仕組み

4

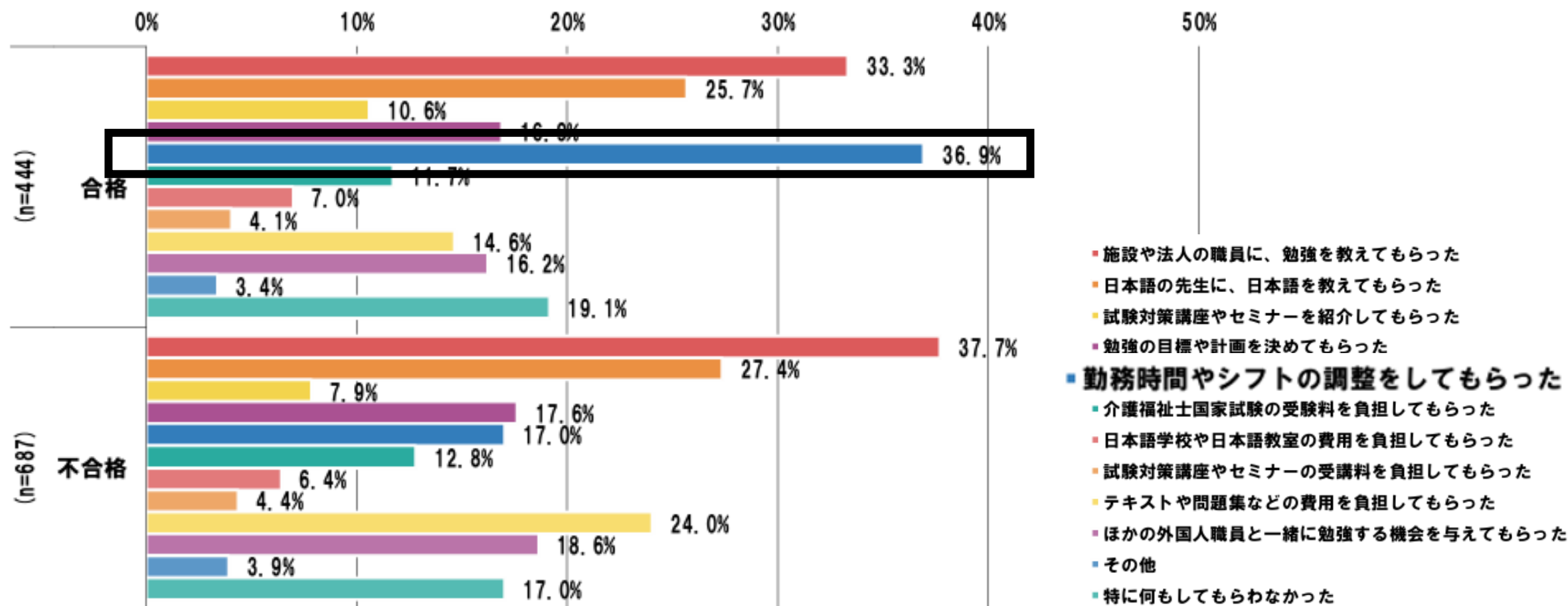
施設の対策

01 学習環境・時間の確保

- 休憩室や食堂を時間帯で学習コーナーにする
- 休憩室に過去問題集などを閲覧できるように配置する
- 無料アプリ・動画・過去問サイトの一覧を配布する
- 掲示板に「今日の1問」「頻出用語」を掲示する
- 申し送り後や休憩の5分を「1問だけ」学習に
- 勤務時間やシフト調整し、学習時間に配慮する

「あるものを使う・隙間時間に少しずつ」
コストをかけず続けられる

図表 93 国家試験の合否別 介護福祉士国家資格を取得するため、職場もしくはアルバイト先の施設や法人、監理団体、登録支援機関にしてもらったこと (n=1,131) (Q11)

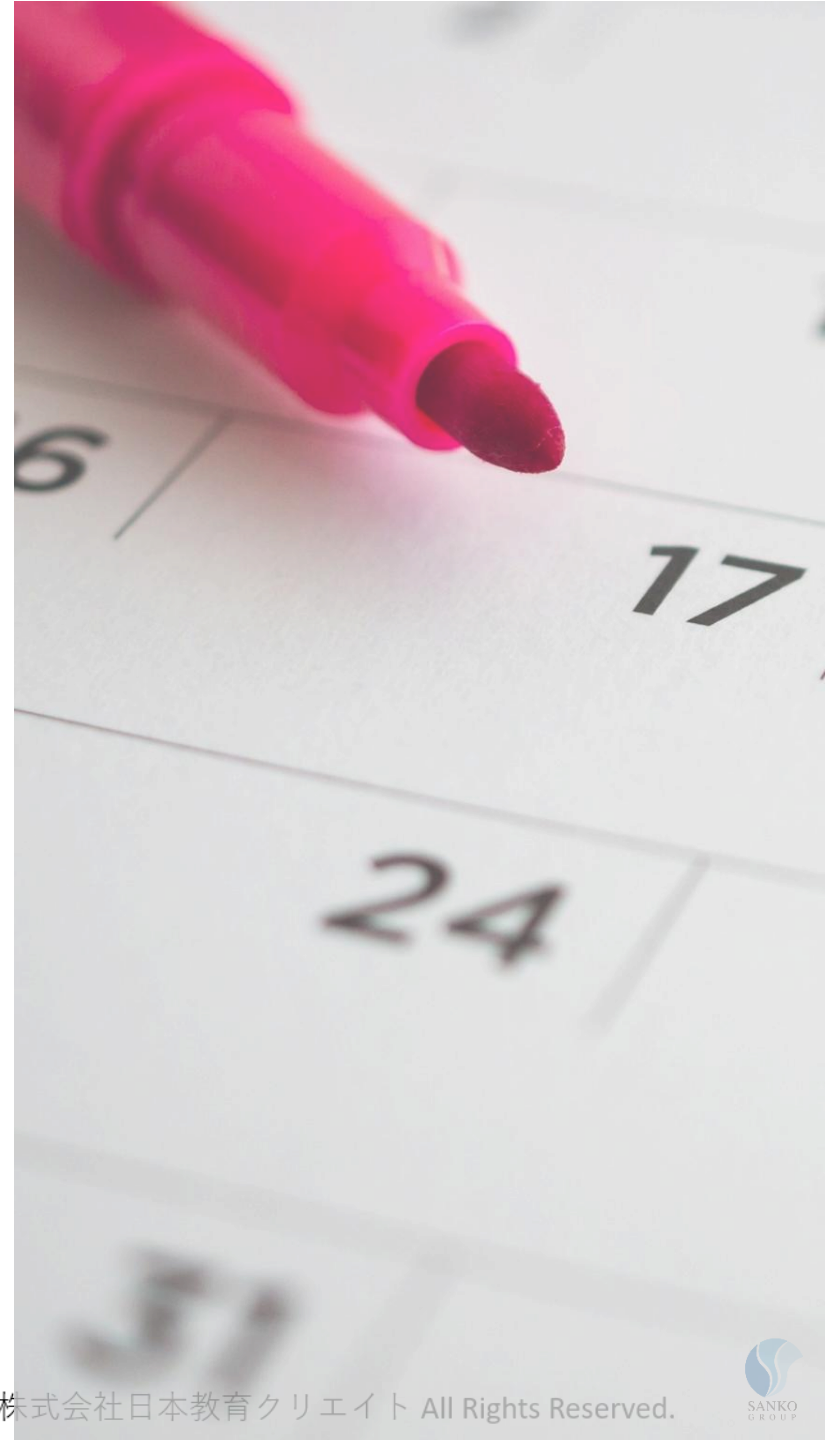


02 早期・計画的な学習設計

- 入職時に受験の目標年を一緒に決める
- 夏までに学習開始する早期スタート
- パート合格制度を活かす複数年計画
- ロードマップを作成し、視覚化する

「早く始めて、分けて狙う」

計画立案こそ が合格への近道である





03 現場と連動した実践支援

- OJTで介護場面の判断を練習
- 「してはいけない対応」を現場で確認
- 介助場面を「なぜそうするのか」言葉にして確認
- 日本人職員に「教えることが最高の学習」の役割を持たせる

「現場で学び、教えあう」
特別な教材がなくても力はつく

04 継続を支える仕組み

- 日常の声かけ・励ましによるモチベーション維持
- 学習日カレンダーを記録、月1回振り返り会を実施する
- 合格者や先輩の体験談共有
- つまづきを1人で抱えない相談先や、受験支援担当を決める
- 管理者が「応援する」方針を明確に打ち出す
- 職場全体で応援する空気をつくる

**「見える化」と「励まし」で
あきらめずに走り切れる**



データ分析から導いた、合格への道筋

合格を決める5つのカギ



1 場面を読み取る力を鍛える

読解力が合否を分ける

-9.3pt

2 0点リスクの2科目を底上げ

「捨てない」対策が合格ラインを守る

約8割

3 医療知識という強みを得点源に

強みを伸ばして得点の土台をつくる

16.8%

4 パート合格制度を活かす

段階的な合格設計で挫折を防ぐ

3パート

5 施設の支援体制づくり

施設の支援が合格率を押し上げる

60.2%

5つのカギを押さえれば、合格はもっと近づく

記入欄 実施予定日：____/____/____

担当者：_____

完了確認日：____/____/____

01 学習環境・時間の確保

- ☐ 休憩室や食堂を時間帯で学習コーナーにする
- ☐ 休憩室に過去問題集などを閲覧できるように配置する
- ☐ 掲示板に「今日の1問」「頻出用語」を掲示する
- ☐ 無料アプリ・動画・過去問サイトの一覧を配布する
- ☐ 申し送り後や休憩の5分を「1問だけ」学習に
- ☐ 勤務時間やシフトを調整し、学習時間に配慮する

02 早期・計画的な学習設計

- ☐ 入職時に受験の目標年を一緒に決める
- ☐ 夏までに学習を開始する(早期スタート)
- ☐ パート合格制度を活かす複数年計画を立てる
- ☐ ロードマップを作成し、視覚化する

03 現場と連動した実践支援

- ☐ OJTで介護場面の判断を練習する
- ☐ 介助場面を「なぜそうするのか」言葉にして確認
- ☐ 「してはいけない対応」を現場で確認する
- ☐ 日本人職員に「教えることが最高の学習」の役割を

04 継続を支える仕組み

- ☐ 日常の声かけ・励ましでモチベーションを維持
- ☐ 学習日カレンダーを記録し、月1回振り返り会を実施
- ☐ 合格者や先輩の体験談を共有する
- ☐ つまずきを抱えない相談先・受験支援担当を決める
- ☐ 管理者が「応援する」方針を明確に打ち出す
- ☐ 職場全体で応援する空気をつくる

ご清聴ありがとうございました



福祉教育の専門校
三幸福祉カレッジ

学校法人 三幸学園グループ
株式会社 日本教育クリエイト